

都市型

インタープリテーション講座



地域には、歴史や文化、自然などのさまざまな資源があります。

こうした資源の価値を伝え、その大切さをわかちあう手法が「インタープリテーション」です。

自然観察会、まちあるきの案内、展示解説などさまざまな場面でこの手法が活用できます。

この講座でインタープリテーションを学んで、楽しい学びの場を作れる人になりませんか？

【日 程】2013年5月25日、26日

2013年7月13日、14日 合計4日間

【講 師】西村 仁志 広島修道大学准教授)

村上紗央里 「ハレうさぎ自然美術社」主宰

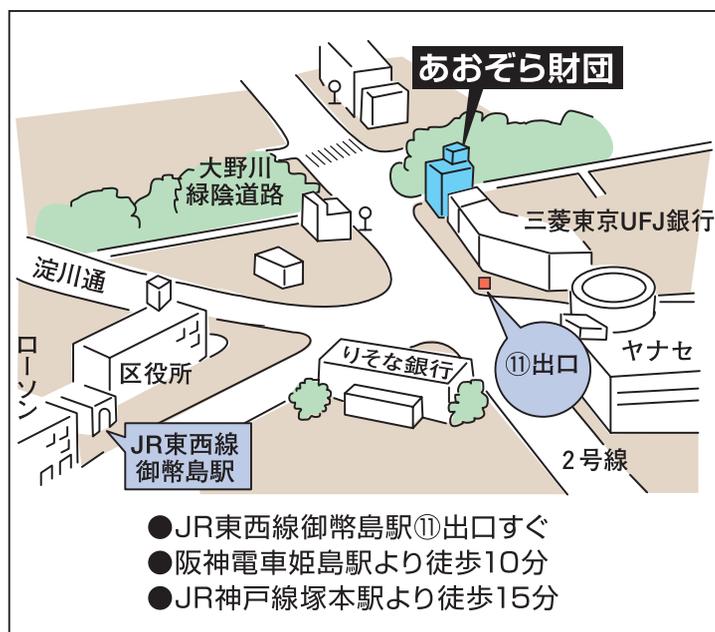
【定 員】15名

【会 場】あおぞら財団

【参加費】資料代 1,500円



町中にある
この茶色い箱を
どうやって説明する？



主 催 / 申 込

あおぞら財団とは

財団の設立趣意書には、「公害地域の再生は、たんに自然環境面での再生・創造・保全にとどまらず、住民の健康の回復・増進、経済優先型の開発によって損なわれたコミュニティ機能の回復・育成、行政・企業・住民の信頼・協働関係（パートナーシップ）の再構築などによって実現される」と、地域づくりの進め方そのものも重視しています。そこで、公害地域再生の事業として、財団の定款にあたる「寄付行為」では、以下のような柱を定めています。

1. 公害地域の再生のための地域づくりに係る調査研究と活動の実践
2. 公害経験や公害地域再生等地域づくり活動に関する情報発信・交流事業
3. 環境学習・環境保健活動等支援事業
4. その他本法人の目的を達成するために必要な事業

ひとこと言うと、公害の経験に学び、それを教訓としながら、よりよい地域づくりを進めていく活動を行い、支援する組織ということになります。

スケジュール詳細

- 5月25日（土） ガイダンス、アイスブレイク、プログラム実演・体験、講義
- 5月26日（日） コミュニケーション実習、解説素材探し、自分たちでアクティビティづくり
- 7月13日（土） 自分たちが作ったアクティビティを実演、フィードバック
- 7月14日（日） アクティビティの作り直し、発表

参加申込書 FAX 番号 03-6277-7554

いただきました個人情報は、本イベントの運営のみに使用し、法律に基づき適正に管理します

氏名	年令
ふりがな	
住所：〒	
電話	FAX
E-mail	所属